

平成28年度 授業改善推進プラン 国語科

〈昨年度の授業改善推進プランの検証〉

★取り組みにおける成果と課題

- ・国語への関心・意欲・態度…授業展開に工夫をした。また、授業ごとに作成したプリントを使用したり、小テストを頻繁に行うなど、課題を分かりやすくした。そのため、目標をもって意欲的に授業に取り組める生徒が多くなった。
- ・話す・聞く能力…さまざまな機会に文章を書かせ、発表する機会を多くもっている。聞く力についてはリスニングテストを取り入れて、メモを取りながら要旨をしっかりと聞き取る力がついてきている。
- ・書く能力…さまざまな機会を使って、感想や意見を書かせる場をもってきた。身近な話題について書くことはできるが、表現を工夫して自分の考えを書くことについては継続指導中である。
- ・読む能力…一語一語の言葉の意味や、表現について丁寧に読む指導をした。そのため文章の読みが深まってきた。説明的文章については、筋道や筆者の考えの展開のしかたをつかんで読めるように指導している。
- ・言語についての知識・理解・技能…漢字については、授業の中での小テストによって、反復練習を行っているため意欲が高まっている。文法事項については、まとめてでなく定期的に指導することで、苦手意識を持つ生徒を減らしていく。

〈国語科の内容別結果の分析〉

内容	1年生	2年生	3年生
話すこと・聞くこと	○目標値に対して正答率が全体的に低い。「話の内容を正確に聞き取る」2つの設問では双方で大きな差があり、先の設問では大きく目標値を下回り、後の設問では目標値を上回っている。	○全ての項目において目標値、全国平均ともに上回っている。特に「話題をとらえて自分の考えをまとめ、主体的に話し合いに参加する」の項目では目標値を大きく上回っており、聞き取った内容を文にしてまとめる力は身に付いている。	○全ての項目で、目標値を上回ることができている。しかし、全国正答率と比較すると下がる設問もある。特に記述式の問題は顕著で、聞き取った内容を文にしてまとめる力は改善していく必要がある。
書くこと	○内容ごとに正答率に大きく差がある。「指定された文字数で書くこと」「文章の内容に沿ったまとめを書くこと」が目標値を下回る結果となっているが、「自分の立場を明確に書く」の設問では正答率は9割を超えている。	○全ての項目において目標値、全国平均ともに上回っている。設問に沿った形で解答がすることができている。指定の文字数や段落数でまとめる力が身に付いている。	○全ての項目で、目標値、全国正答率を上回っている。特に、グラフ内容の読み取りに関しては、全国正答率を10点以上上回っており、読みとった内容を文章にして書くことができている。
読むこと	○【説明的文章を読み取る】ほぼ全ての項目で目標値をやや上回っている。「文章の構成や展開をとらえる」のみ目標値をやや下回っている。 ○【文学的文章を読み取る】全ての項目において目標値を上回った。特に「登場人物の心情をとらえる」については9割近い生徒が正答している。 ○【話し合いとメモを読み比べる】全ての項目において目標値を上回った。	ほとんどの項目で目標値を上回ることができている。「文章の構成や展開をとらえる」の設問では正答率が8割を越え、目標値、全国平均を大きく上回った。その中で「文章の内容を性格にとらえ、その中から必要な情報を集める」の設問では目標値、全国平均とともに下回った。	○【文学的文章】全ての項目で目標値を上回っている。 ○【説明的文章】内容を捉えることはできても、「文章の構成や展開をとらえる」「文章の内容を捉えて具体的な事例を当てはめる」力に課題が見られる。 ○【手紙のメモと下書きの読み比べ】全ての項目で目標値を上回っている。
言語事項	○【漢字の読み】全ての項目において目標値を上回った。3つの設問において正答率が9割を越えており、全体的に高い正答率と言える。 ○【漢字の書き】目標値・全国正答率と比較し、ほぼ全ての項目で数値が下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を上回っているが「修飾語」に関する質問では目標値全国平均を大きく下回った。	○【漢字の読み】概ね目標値を上回り正答率も9割を越えているが「けいび」に関しては目標値、全国平均を下回り、正答率も5割を下回った。 ○【漢字の書き】目標値を下回る項目が多く、全ての項目において全国平均を下回った。 ○【文法・語句】全体的に目標値を大きく上回ったが「文節」に関する設問では目標値を下回った。	○【漢字の読み、書き】前年度正答率や目標値を下回る項目が多く、苦手とする生徒が多いようだった。 ○【文法・語句に関する知識】全ての項目で目標値を上回っている。しかし、「用言の活用形」に関しては、前年度と全国正答率を下回っている。

〈国語の観点別結果の分析〉

観点	1年生	2年生	3年生
関心・意欲・態度	<p>○宿題、課題などに自主的に取り組む生徒も多い反面、意欲や授業中の集中力に欠ける生徒もいる。</p> <p>○発言はとて積極的であり、誤答をこわがらずに発言できる姿勢がある。</p> <p>○漢字の小テストも意欲的に取り組む生徒が多く、語彙力に繋がっていく兆しがある。</p>	<p>○課題などに自主的に取り組む生徒も多い反面、授業中の集中力に欠ける生徒もいる。発言は積極的であるが、同じ生徒に偏ってきている。</p>	<p>○全体的に落ち着いている。意欲の高い生徒が多数おり、臆せず積極的に発言することができている。一方で、積極的な発言に押されがちで、良い意見を持っていてもなかなか発言できない生徒がいる。</p> <p>○提出物に関しては、出す生徒と出さない生徒の差が大きい。出さない生徒は物の自己管理ができず、教員の指示を正確に把握できていない傾向にある。</p>
話す・聞く能力	<p>○聞くことについては、集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする姿勢があるが、頭の中で整理がつかず、深い理解することにはまだ繋がっていない様子である。</p> <p>○話すことについては、内容をわかりやすく相手に伝えるだけの語彙がまだまだ不足している。文章の構成力が弱い。</p>	<p>○聞くことについては集中して話し手の意図するところ、内容を理解しようとする意識が高い。一部、話を集中して聞けない生徒がいる。</p> <p>○話すことについては順序だてて相手に伝える力が不足している。</p>	<p>○聞くことについては、前年度からかなりの改善が見られた。ほとんどの生徒が集中して話を聞き、話し手の意図するところを考え、内容を理解しようとする意識が高い生徒が多い。</p> <p>○話すことについては、根拠に基づいた意見を論理的に発言できる生徒が多い一方で、人前で話すことに抵抗があり、明瞭で聞き取りやすい声で話すことができない生徒が目立つ。</p>
書く能力	<p>○積極的に作文に取り組む生徒が多いが、「書く」という行為自体に苦手意識を持っている生徒もいる。5W1Hや文章の構成が身につけていない生徒も多く、文章にまとめる力が不足している。</p> <p>○自分の考えの発信はできるが、内容を理解してたうえで表現をするという力が著しく不足している。</p>	<p>○書くことに関して時間をかけていいものに仕上げようとする生徒がいる中で、なかなか課題に取り組めない生徒もいる。文章の構成や段落についての理解は高まっている。</p>	<p>○書くことについては、抵抗感を持つ生徒は段々と減少していった。誤字脱字や語彙力、文章構成能力が低く、改善が必要である。しかし、自分の思いを文章にすることを好む生徒は多く、感想文などは熱意を持って書く生徒が多い。</p>
読む能力	<p>○読書好きな生徒が多いが、文章を落ち着いてじっくり内容を読み込む力がまだまだ弱い。文章を最後までしっかり読んで、筆者の主張を読み取る力も不足している。</p> <p>○説明的文章を読むときに、序論本論結論を意識できている生徒が少ないので、構成の理解が必要となる。</p>	<p>○朝読書の時間も含め、休み時間も本を手放さない生徒もおり、読書習慣は浸透しているが、苦手な生徒も存在する。ジャンルを広げて読むことや、説明的文章などに抵抗を示す生徒もいるので、興味を持たせていきたい。</p>	<p>○文章を読み込む力がついてきた生徒が多い。前年度と比較しても内容を把握し、文章正確に読みとることができる生徒は増加した。</p> <p>○一方で、設問の指示を読まないなど、「自分の思いこみ」が強い生徒も目立つ。</p>
知識・理解	<p>○日々の漢字テストを含め、漢字学習にとても意欲的に取り組んでいる生徒が増加した。しかし、習得した漢字を文章の中で使いこなせておらず、平仮名書きや誤字が多い。</p>	<p>○漢字学習にはよく取り組んでいるが、文章の中で使いこなせておらず、平仮名書きや誤字が多い。</p> <p>○文法の知識が不足している。苦手意識を持つ生徒が多い。</p>	<p>○漢字に関しては、なかなか改善が見られない。日々の漢字テスト等で努力をする生徒は多いが、成果はまだ見られない。小学校で学習した漢字の読み書きが出来ない生徒も見られるため、引き続き学習を拡充し、基本的な漢字を書けるようにする必要がある。</p> <p>○文法に関しては、「敬語」など、日常的に使う項目に関しては理解が早いですが、用言の活用は苦手とする生徒が多い。</p>

〈国語科の課題と具体的な授業改善策〉

	課題	具体的な授業改善策
1年	<p>○筋道を考え、話す、書く姿勢と力をつける。</p> <p>○文章表現に注意して必要な情報を的確に読み取る、聞き取る力を高める。</p> <p>○小学校学習漢字の復習を行う。中学校で習得すべき漢字の定着を図る。</p>	<p>○さまざまな文章を書かせる機会を増やし、それらを発表する機会を通して、書くこと、話すことの充実を図る。また、定期的な課題を設けて書くことを行い、文章構成・テーマを意識して書く力を養っていく。</p> <p>○漢字は定期的にテストを行い、繰り返し学習をすることにより、定着を図る。確実な習得に繋がるよう範囲を短くし、生徒たちのやる気に繋がるようにテストを行っていく。</p>
2年	<p>○話の意図を理解しようとする、「聞く意識」を身に付ける。</p> <p>○筋道を考え、話す、書く姿勢と力をつける。</p> <p>○漢字の知識の定着を図り、知識の習得とともに語彙力の向上をねらう。</p>	<p>○さまざまなジャンルの文章に触れさせ、総合的な国語力の定着を図る。</p> <p>○漢字テストを定期的に行い、反復練習により定着を図る。</p> <p>○感想や意見を書かせ、発表する機会を多くする。</p> <p>○折に触れて作文を書かせ、「書く」という作業に対する抵抗を少なくしていく。</p>
3年	<p>○物事の筋道を考え、話す、書く姿勢と力をつける。</p> <p>○視野を広くして話題を捉え、自分の考えをまとめ発信する力を高める。</p> <p>○文章構成を意識し、自分の考えを論じることができるよう力をつける。</p> <p>○小学校学習漢字の定着を図る。中学校で習得すべき漢字の学習・復習を行う。</p>	<p>○討論活動の展開など、アクティブラーニングをする機会を増やし、視野を広げて物事を考えまとめ、話すことができる力の向上を図る。</p> <p>○漢字は定期的にテストを行い、繰り返し学習をすることにより、定着を図る。</p> <p>○添削を通して作文指導を行い、確実な文章構成能力の向上を図る。</p> <p>○作品内容から読みとったことを発表できる機会を増やす、またワークシートを織り交ぜていくなど、正確に読みとる力の向上を図る。</p>